

国土技術政策総合研究所コンプライアンス・アドバイザー委員会 議事概要
(令和8年度 第1回)

○開催日時 : 令和8年6月19日(金) 11時00分～11時30分

○開催場所 : WEB会議

○出席委員

委員長	義経 百合子	弁護士
委員	石倉 毅典	公認会計士
委員	長井 宏平	北海道大学大学院 教授
委員	森本 章倫	早稲田大学 教授

(委員は五十音順)

○議事概要

(1) 令和8年度国土技術政策総合研究所コンプライアンス推進計画実施状況(最終報告)について

【主な意見、質問及び回答】

- 情報システム管理の徹底での、全職員を対象とした情報セキュリティの自己点検の実施で、従前の点検様式による実施確認の形式からe-ラーニング方式に変更されました。これにより職員の理解度が深まったとか、e-ラーニング後に簡単な理解度確認テストを実施するというような工夫があれば教えていただきたい。
- 令和7年度よりe-ラーニング方式による研修に変わり、この研修後に自己点検テスト形式でいくつかの質問があり回答を収集したところ、知識が非常に深まったとのアンケート結果もあったところである。
- 推進計画の項目には「更なるコンプライアンス意識向上に向けた取組内容の検討(評価・検証・改善等)」というのがあるが、計画では評価・効果を元に継続の可否について検討を行っていくということと、コンプライアンスに関する情勢を把握し、新たな取り組み等の検討を行うとしているところだが、先程のe-ラーニングの取り入れや、アンケートなど新しい取組を随時進めているなかで、あらたな検討に着手するような予定はあるか。
- 令和7年度の新たな取組のひとつとして、発注者綱紀保持セルフチェックの際に職員に対しコンプライアンスに係るアンケート調査を実施したところであるが、コンプライアンス・ミーティングの題材に実際に起こった不祥事や、不祥事までには至らずとも相談窓口実際にあった事例を可能な範囲で設問に取り入れてほしいなどの意見があったところ。これらの意見を踏まえ、今後も工夫して行きたい。
- 更なるコンプライアンス意識向上に向けた取組内容の検討(評価・検証・改善等)では、

職員アンケートを新しく始め、そのなかであった意見を取り入れていくことが確認できたが、計画を継続してきたが思うような効果が上げられず、項目から外す等の見直しや、検討すべき計画項目があればお聞かせ願いたい。

→ コンプライアンス推進計画は、継続して繰り返ししっかりとやっていくことが大切だと考えており、基本的にはすべての項目を実施し、やり方や中身については、工夫をして進めていきたい。

【総評】

- 職員からの意見を取り入れながら、より実行性を持つ形でアップデートして、当該計画を見直していただくと、より充実した計画推進になるように思う。引き続き推進していただきたい。